

# ずしスポ推だより

第11号

## 関東スポーツ推進委員大会

六月十二日(金)、十四日(土)の二日間、群馬県総合スポーツセンターを中心に、楽しく歩いて健康づくり in 群馬ウォーク、ハイイク、トレッキングの理論と実践」をテーマにした関東スポーツ推進委員研究大会が開催されました。

関東甲信地区から約二千人を超すスポーツ推進委員の参加があり、逗子市からは酒井会長と山口の二人が出席しました。

初日の会場となった総合スポーツセンターは、遠くに妙義山、榛名山、赤城山などの山々を見渡し、利根川の河川敷に隣接した広大な敷地の中に、体育館、武道場、テニスコートなど、特に立派なアイスアリーナは群馬らしさを感じた施設でもありました。

大会アトラクションは、前橋市がウクレレ生産量日本一との事で地元の方々によるウクレレ演奏とフラダンス、そして伝統芸能の八木節が披露されました。そのあと、世界の選手に愛されるシューズづくりをテーマに、M・Lab(ミムラボ)代表取締役 三村仁司さんから、数々のトップアスリートのシューズを製作してきた中での、シューズの大切さ、一足のシューズに人生をかける熱い思いなどの基調講演がありました。

翌日は、伊香保会場でのハイキング実

践、谷川岳から一ノ倉沢間ノルディックウォークなどの分科会が開催され、其々のテーマに沿って研修が行われました。

さて、私事になりますが、逗子市の体育指導員・スポーツ推進委員として32年が経過し、このたび県内24人の関東スポーツ推進委員会表彰者の一員に加えて頂きました事に、感謝申し上げます。

体育指導員になった当初は、バレーボールをはじめスポーツを通じて地域のお手伝いが出来ればと活動してきました。微力ではありますが、今後とも子供をはじめあらゆる世代の方々がスポーツの楽しさ・大切さを実感して頂く活動に関わっていただきたいと思います。



(池子 山口 勝)

## 第55回全国スポーツ推進委員研究協議会(岩手大会)

九月二十五日(木)・二十六日(金)の二日間、全国から3160余名が参加して、岩手県盛岡市で開催され、逗子からは、酒井会長、山上・岩下・相川各常任委員が参加しました。

初日、盛岡アイスアリーナで開会式、表彰式、講演、シンポジウムが行われ、表彰式では、相川がスポーツ推進委員功労

者、山上さんが30年勤続スポーツ推進委員として表彰されました。

講演は2014年冬季ソチパラリンピックで滑降・スノー大回転で金メダルを獲得した、狩野亮選手の「今を生きる」で、小学校3年の時、車にはねられ脊髄損傷で下半身不随となり、様々なスポーツを経験する中で中学時代にチエスキに出会い、よき仲間、コーチに恵まれ今日に至った経緯を話されました。

翌日は、地域住民が主体に参加する魅力あるクラブづくりを目指して「このテーマで3クラブの発表が有りました。

① 大分県 NPO法人まつぞのスポーツクラブ」は20余年の歴史が有り、予算も2400万円(文科省、TOTO等の助成)と高額で、クラブハウスの有るスポーツ施設が2015年に完成予定で、アスリートの養成にも力を入れている。

② 宮城県 NPO法人アクアゆめクラブ」は、15年余の歴史が有るが、東日本大震災でスポーツをするどころでない状況となり、給水ボランティアを行い、町に



表彰された相川さん(左)と山上さん(右)

応急仮設住宅が出来ることから入居者訪問、サロンの開催などで、健康状態の把握、メンタルヘルスケアを行い、直接スポーツに関係ないところでも、健康維持、増進を計る活動をしている。

③ 岩手県 楽々クラブ矢巾」は創立5年で、うみかぜクラブ」と同様に体育協会組織の一部として活動。内容も似ている。運営委員18名の内、スポーツ推進委員全員(9名)が入っている。町主催の春まつり」には、スポーツイベントを企画運営している。

この様に各クラブは地域の特徴を生かして活動している事を紹介されていました。

## 県スポーツ推進委員研修会

十一月二十三日(祝)川崎体育館で行われ、逗子からは4人が参加しました。

研修はラジオ体操第1、第2で、昨年も第1の研修を行ったので今回は指導者の立場で左右反対に出来るように行いました。今年の夏休みに自治会でラジオ体操を行い、子ども達の前に立ちましたが、そのまま行くと反対に行う子どもが多かったため、今回はとてもいい機会になりました。

他の地区の方と2人一組になり、始めに子どもが楽しく運動が出来るような組体操を行い、その後ラジオ体操の各パートで気を付ける所が出来ているか確認しながら行つて、最後はお互いにマッサージをして終わりました。

逗子からの参加は少なかったですが他の地区の方との交流も出来て、とても有意義な研修になりました。

(小坪 佐藤 千香)

## 県スポーツ推進委員大会

二月一日(日) 伊勢原市民文化会館で総勢237名、逗子からは安藤さん、坐間さんと林が、地域の方からの拍手やお祝いの掛け声のある和やかな中、26年度の功労者の表彰を受けました。

ゆるキャラに出迎えられ、向上高校の吹奏楽部の目をみはる演奏があり、そして元女子ソフトボール日本代表監督齋藤春香氏の「わが町から世界へ」という講演がありました。

私も意義ある賞をいただいて、さらにスポーツを推進して、地域の活性につとめていきたいと思います。

(池子 林 和子)



表彰状を手に皆さんと一緒に安藤さん(左)と林さん(右)

## 実技研修会

六月二十一日(土)逗子アリーナで救急救命法とパウンスポールの研修がおこなわれました。

救急救命法は意識がなく呼吸をしていない人に対しての胸骨圧迫とAEDの使い方でした。以前にも一度消防署で講習を受けたことがあります。人形相手でも少し緊張するものです。実際にそんな場面に遭遇することはまれでしょうが、こういう講習はできるだけ受けたほうが良いと思います。

パウンスポールは十二月の横三プロック研修会の当番市ということで、ルールや審判についての確認、研修となりました。実技は三人一組でバドミントンコートを使い、柔らかいボールで簡単そうにみ



AEDのガイダンスに従って、パット(電極)を取り付けます

えました。しかし、なかなか難しいです。とても楽しくいい汗をかきました。

(沼間 高橋 妙子)

## 家族交流会

八月三十日(土)に逗子海岸前のレストランで逗子スポーツ推進委員の交流会が開催されました。今回交流会に参加して、他の地区の方との親睦がメインに行われ、その中の活動内容や今までの先輩らが築きあげた歴史を知ることができ大変良かったです。

そのなかで、小坪の地域での活動では、月に一回小学生に球技活動を行っていて、最初は5名位の参加でしたが1年後に20名以上参加して活動しているとの事。それを聞いて新宿でもまさに同じ環境です。月一回逗子小で球技活動をしています。小坪同様5名位の参加者が現在活動しています。いかに楽しく、親と一緒に引き込んで誘って活動していくことが大切です。地域の協力なしではいけません。もっと子供達に運動の大切さを教えて行きたいです。

今回、全国スポーツ推進委員の大会で表彰を受ける方がいて、30年以上スポーツ推進委員に携わっているそうです。まさしく、継続は力なり!と思いました。昔のガキ大将!素晴らしい! (拍手) 私も30年後はどうなっているのか、想像がつきません。見習いたいですね。

20年前とは、運動の仕方、場所の確保が難しくかなり縮小されています。今の子供達がコンピュータゲームにはまり、身体を動かすことを忘れていきます。今こそ昔のガキ大将が登場する番です。

是非、この逗子スポーツ推進委員から運動を発信していきたいと強く思いました。

2時間という短い時間でしたが、有意義な会でありました。幹事の皆様ありがとうございました。

(新宿 榎本 肇)



## 体力テスト会

十月十二日(祝)の体育の日に開催されました。台風接近の為、あいにくの天気でも来場者も少なめでしたが、毎年の体力測定記録を楽しみにしている方もいらっしやいました。

それぞれのコーナーで汗を流す中、今年は「よさこいソーラン節」を踊る時間が設けられました。初めて参加する人が多い中で練習を重ね、はつぴを着用して踊り、それなりにさまになっていったようです。

測定値がその場でわかり、毎年体力の確認ができる場なので、これから多くさんの方々に足を運んで頂きたいと思います。



体力テスト会に障がい者も・・・の環境で「よさこい踊り」の講習会が有りました

## 逗子市民まつり

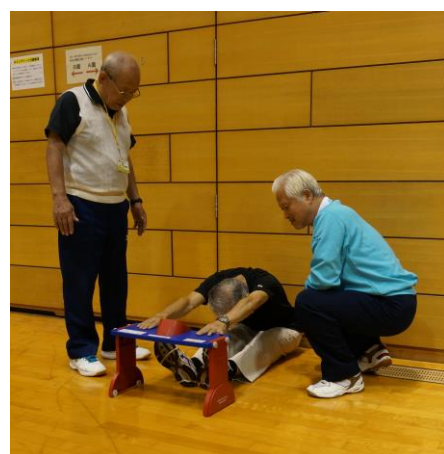
十月十九日(日) 市民まつりには子供が小さい頃毎年行っていました。今回はお手伝いをする側として初めての参加になりました。

今までニュースポーツの体験など参加したことが無かったのですが、今回お手伝いをしてみて結構面白いなという感じを受けました。特にペタンクですが、カーリングにルールが似ていて戦略性もあり、小さい子供からお年寄りまで同じ条件で楽しめる所が良い所です。

クリーン作戦は何とかゴミを集めようと探しましたがなかなか見つけれられない



終了後、ペタンクで使ったラインを消します



長座体前屈測定 うーん・・・

## スポーツの祭典

状況で、参加者の意識の高さに感心させられました。(小坪 本屋 啓一)

十一月十五日(土) スポーツの祭典2014はいろいろなスポーツを気軽にチャレンジできるイベントで、私は逗子アリーナで、バウンスボールというスポーツを指導しました。

1チーム3人でバドミントンコートを使用して柔らかいボールをワンバウンドした後、手のひらで打ち返すというニュースポーツで、少し運動不足の私は大変いい汗をかきました。

子供たちは少し教えると上手にラリーを繰り返してゲームを楽しんでいました。ミニ運動会では大人も子供も一緒に楽しめる競技が多く、かなり盛り上がりました。参加者はたくさんの景品を持ち帰り喜んでいました。

秋空の下、たくさん笑顔が輝く一日となりました。(新宿 前田 有希乃)



第一運動公園自由運動広場で行ったミニ運動会

## オリエンテーリング

十二月六日(土) 今回は中間巡回で初めてコースを歩きました。先入観から1番のチェックポイントを見逃した後戻り。神武寺までの山登りが結構大変で、出発直後は寒かったのに手袋をしていた手が汗をかく位、体が温まりました。

逗子在住26年、神武寺の場所を初めて知りました。神武寺から沼間・池子を抜けて一時間三〇分後に無事ゴール！疲れしました。

参加者の危険を避けるため、なるべく車が通る道を歩かせない、右側通行になるようチェックポイントは全て右側に設定する、などのコース作りに感心しました。ゴール後の豚汁もとてもおいしかったです。

オリエンテーリングに関わった全ての皆様、お疲れ様でした。(桜山 澤 美咲子)



逗子中前を通過して、これから山道へと入って行きます

## 第62回市内一周駅伝競走大会

一月十一日(日)

昭和28年第一回目の号砲を發した逗子市内一周駅伝競走大会も今年で第62回を迎えた。年々増加の傾向にあるランニングブームも東京マラソンを契機に更なる広がりを見せ、走る事に魅了された人口は今や壱千万人を突破するまでの勢いとなっている。

そのような影響もあつてか、当大会も回を重ねる度にエントリー数が増え、今年は地域対抗の部からは16チームが、団体対抗の部からは27チームがそれぞれエントリーされ、優勝を目指して6区間(27.6km)での健脚を競い合った。

地域対抗の部は桜山体育会の高岡監督率いる桜山Aチームが並み居る強豪チームを相手に一人ひとりの持ち味を充分に生かした力走を展開し、16年ぶり19回目の優勝を勝ち取った。

団体対抗の部では、逗子開成Aチームが庄巻の強みを見せつけ、他のチームを寄せ付けない単独トップを守り抜き15連覇の快挙で優勝に輝いた。

両チーム共、素晴らしい結果に繋がった背景には日々積上げた練習の成果が遺憾なく発揮されたものと思つている。残念ながら優勝には及ばなかった他チームも、来年こそはの意気込みで打倒桜山、開成を目指して大会に臨んでもらいたい。

競争であるからには、誰もが勝ちを意識して大会に臨んでいるはずである。参加選手全員が目標を持って練習に励み、より逗子市内一周駅伝競走大会

のレベルアップに繋がる力走を来年も期待したい。  
(桜山 細川 進)



16年ぶりの優勝、桜山チームの皆さん、おめでとうございます

## 横三ブロック研修会

十二月七日(日)、今年は逗子市での開催年にあたり、逗子アリーナでバウンスボールの研修会を行いました。逗子市ではこのバウンスボールを広く広めようと、一昨年に逗子市で開催された県スポ推研修会にも取り上げましたので横三地区の皆さんにもおなじみで、接戦を繰り広げる試合が多々見受けられました。

また、審判(主・副審、ラインズマンなど)も皆さんになれてもらう為、試合に出ないチームが順番に担当してもらうなど、各地区の皆さんと楽しく交流を計れた研修会でした。



## ～ スポーツで健康づくり ～

今年も逗子市は「チャレンジデー2015」に参加します。毎年5月の最終水曜日(今年は5月27日)に人口規模がほぼ同じ自治体・地域間で、午前0時から午後9時までの間に15分以上の運動やスポーツ等を行った住民の参加率を競い合う住民参加型のスポーツイベントです。皆様の参加・ご協力よろしくお願い致します。詳細は広報ずし5月号に掲載いたします。



## 広報委員会

石渡眞澄・笠原恵子・高山啓市・峯尾尚子  
酒井 博・佐藤千香・松井弘喜

発行／逗子市スポーツ推進委員協議会

事務所／逗子市役所 市民協働部文化スポーツ課

TEL : 046-873-1111 (7841)

発行責任者／酒井 博

## 編集後記

今年度は「健康まつり」が市制60周年記念の「スポーツの祭典」に変わり今までとは違う活動になり、また2月には「池子の森」が返還され、スポーツをする場所も増えてきました。これからもスポーツの楽しさを広める為に、色々な事に取り組んでいきたいと思っておりますので皆さんの協力を宜しくお願いします。  
(T. S)